

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特定疾患調査解析システム開発等経費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 山本 尚子			
会計区分	一般会計	施策名	難病、ハンセン病、エイズ対策を推進する IV-3-2				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定疾患治療研究対象者の申請の際に提出される臨床調査個人票(診断書)のデータを利用し、研究班における研究の促進を図る。また、認定の際に特定疾患調査解析システムを参考に利用し、適正かつ全国統一的な判定、審査業務及び認定業務の省力化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県の特定疾患対策協議会において、特定疾患調査解析システムを用いた特定疾患の一次判定を行うとともに、難治性疾患克服研究事業の臨床調査研究班に対し臨床データの提供を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	5	32	8	4	4
		補正予算					
		繰越し等					
		計	5	32	8	4	4
		執行額	2	8	7		
	執行率(%)	40%	25%	88%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は難治性疾患克服研究事業の臨床調査研究班からの申請に応じて、臨床データの提供を行うためのシステムに係る運用・保守経費であり、成果目標の設定は困難である。	成果実績	人	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本システムは認定の際に利用され、適正かつ全国統一的な判定、審査業務及び認定作業の省力化を図るものであることから、活動目標の設定は困難である。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	-	-	-
単位当たりコスト	-(円/)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	運用・保守	4	4				
	計	4	4				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	難病患者の認定適正化の観点からも優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国が所有しているシステムの運用経費である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	不用理由は入札減による。
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札に業者選定をしている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	一般競争入札により業者選定をしているので、用途は限定的である。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	特定疾患調査解析システムで集約した情報等は研究者等により活用されている。
点検結果	都道府県から送付される臨床データは本システムを介して国に集約された上、難治性疾患克服研究事業の研究班により毎年使用されており、特定疾患の研究や実態把握に貢献している。平成22年度は低執行率となっているが、入札額が低額であったことによる。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	当該事業は、毎年度恒常的に不用が生じているものの、平成23年度予算において適切に対応しており、引き続き、効率的な予算執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0168	平成23年行政事業レビュー	0145

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
7百万円

特定疾患調査解析システムの運用・保守、機器移設、事業者の決定、契約締結等



【一般競争入札】

A. 日本電気株式会社
7百万円

特定疾患調査解析システムの機器移

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.日本電気株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
移設費	特定疾患調査解析システムの機器移設	3			
運用・保守費	特定疾患調査解析システムの運用・保守	4			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気株式会社	特定疾患調査解析システムの運用・保守等	7	1	93.50%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					